

月刊 きょうと教育通信

Vol. 19 平成16年6・7月号 発行:京都市教育委員会企画課(222-3768)

京都市教育委員会のH.P.は<http://www.edu.city.kyoto.jp/>でご覧いただけます。広報資料は毎日更新しています。

～市民みんなで「理科大好きな子ども」が育つ京都づくりを～ 理科市民会議が榎本市長に提言を提出

6月29日、21世紀の「理科」を考える京都市民会議(座長=日高敏隆総合地球環境学研究所所長・青少年科学センター所長)から榎本頼兼市長に最終提言「新しい時代にふさわしい『理科・科学』のあり方について」が提出されました。

これは、平成14年8月2日に諮問を受けた内容を審議され、パブリックコメントを反映して、まとめられたもので、“大人も子どもと一緒に考えよう”、“不思議体験のきっかけを作ろう”など、子どもの自発的な取組を支援することを提示しています。

すでに教育委員会では、この提言の趣旨を生かすために、幼稚園・保育所幼児を対象とした理科推進



日高座長が榎本市長に提言を提出

事業をはじめ、大人の方にも理科や科学に興味・関心を持っていただくために大人のための科学教室や科学系博物館施設連絡協議会の創設など、新たな事業を開始。千年の都である京都から、「理科大好き」な子どもが育つよう、市民ぐるみで取組の充実を図ります。

ご意見・お問合せ=青少年科学センター(642-1601)

共同アピール「家族の宿題」を作成

6月8日、PTAや校園長会の代表が参画する、「教育改革推進会議」において、子どもたちに「確かな学力」と「豊かな心」を育むためには、保護者が子どもともしっかりとふれあうことが大切との提案を踏まえ、共同アピール「夏休み、心のふれあい、家族の宿題」が作成されました。

PTAや校園長会をはじめ、人づくり21世紀委員会、地域生徒指導連合会、京都おやじの会連合会とともに、全市にむけて共同アピールを行い、学校・家庭・地域が一体となった取組を推進していきます。

「家族の宿題」では次の5つの例を挙げて、取組を呼びかけています。

1. 子どもの目を見て会話をしよう。
2. 一緒に家事をしよう。
3. 一緒に本を読もう。
4. 一緒に出かけよう。
5. 立ち止まって、一緒に「答え」を探そう。



7月3日、「PTA会長感謝の集い」で、京都市PTA連絡協議会の松井憲昭会長が、関係団体を代表し、アピールを行いました。

ご意見・お問合せ=教育計画課(222-3815)

《6月・7月の主なできごと》

- 6月15日 長崎県での事件を受け、学校管理職等を対象に情報モラル教育研修(～16日)。
- 28日 「これからの教育を考える懇談会」(文部科学大臣の諮問会議)に榎本頼兼市長が委員として出席。
- 7月3日 前年度PTA会長への「感謝の集い」に1,800人が参加。式典後、みやこ子ども土曜塾創設記念親子コンサート開催。
- 5日 地産地消(知産知消)推進プロジェクト発足。学校給食で地域の農産物を積極的に活用することを検討。
- 7日 横大路小校庭の芝生化完成式典。京都経済同友会等によるNPO「芝生スクール京都」の全面協力で約800㎡が芝生に。
- 9日 12月、京都市で開催の全国小学校英語教育実践交流大会に向けた実行委員会。
- 9日 御手洗文部科学省事務次官らが、1日かけて京都市の教育改革を視察。みらい館・パトナ・総合教育センター、西京・堀川高校を視察、榎本頼兼市長とも懇談。
- 12日 中学校夏季大会開会式。市内大会17～26日、府下大会27～31日開催予定。
- 13日 全国高校総体(7/28～8/24)・高校定時制・通信制体育大会(7/29～8/20)に出場する市立高生徒57名への激励会。
- 14日 道徳教育振興市民会議が3年間の活動を経てまとめた最終提言を教育長へ提出。

大人みんなが先生に！ まち全体を学びと育ちの場に！ 「みやこ子ども土曜塾」始動！

学校週5日制のもと、子どもたちの興味関心や学びへの意欲を社会全体で受け止め、人と人とのつながりの中で、週末の学びと育ちの場を提供する「みやこ子ども土曜塾」。「大人みんなが先生に」を合言葉に、「まち全体を学びと育ちの場に」を目標に、土・日・祝日や夏休みなど学校休業日に、京都ならではの多様な学習資源を生かした様々な活動を通して、市民ぐるみで子どもたちを育む取組が始動しました。

《運営委員会が発足》

6月30日、PTAやNPOなど12団体の代表者による運営委員会が発足。

土曜塾事業全体の運営方法や、情報誌の発行などについて活発な意見交換がなされました。

楽しさをイメージしたカラフルな土曜塾のロゴマーク。



《登録事業募集中》

土曜日をはじめとする学校休業日に実施される、子どもたちのあらゆる学習活動や体験活動に関する情報を、各種地域団体やNPO、ボランティア団体、大学、企業などから幅広く募り、公式ホームページから発信。8月からは独自の情報誌を定期的に発行し、学校を通じて全保護者に配布します。

<http://www.edu.city.kyoto.jp/kateitiki/doyo-juku/>

《「土曜塾」情報誌 名称募集！》

[応募方法] 名称・名称の作成理由を記入し、住所、氏名、年齢、電話番号を明記のうえ、郵送またはFAXでご応募ください。

[応募締切] 16年7月20日（火）当日消印有効。

[発表] 16年8月中旬に広報発表予定。

[賞品] 採用された方1人には賞状及び賞品（図書券1万円分）を進呈。複数名の場合抽選。

[その他] 採用された名称の著作権は土曜塾運営委員会に帰属します。

[宛先] 〒604-8064中・富小路通六角下る元生祥小学校内
市教委家庭地域教育支援課 みやこ子ども土曜塾担当
(FAX 251-1013)へ。

ご意見・お問合せ = 家庭地域教育支援課
みやこ子ども土曜塾担当（251-1009）

長崎の事件を受け 緊急アピールを採択

6月1日に長崎県佐世保市で起きた小学生による痛ましい事件を受け、京都市では、直ちに緊急庁内会議を開催し、各学校に緊急通知を送付。翌2日には、人づくり21世紀委員会、京都市PTA連絡協議会、京都市地域生徒指導連合会、校長会、教育委員会による緊急連絡会議を開催しました。

会議では、一人一人の子どもに向き合い、それぞれが何をできるかを考え、これまでの取組の正しさに自信と自覚をもって、全力で行動することを確認。「いのちの大切さ」を教え、「人を思いやる心」を育むために～子供たちが事の善悪を判断できるようしっかり教えよう～と題したアピールを採択しました。

アピールは、各学校を通じて全保護者に配布したほか、各種団体からそれぞれの関係者にも配布しました。今後とも、学校・家庭・地域・各種団体が密接な連携をとりながら、子どもたちに、生命を尊ぶ心を育むための取組を進めます。



関係団体が参加のもと、アピールを採択した緊急連絡会議

ご意見・お問合せ = 生徒指導課（213-5622）

京都万華鏡ミュージアム 姉小路館 オープン

6月6日、こども相談センター パトナ内に「京都万華鏡ミュージアム 姉小路館」がオープンし、京都南ロータリークラブをはじめ、初音自治連合会、日本万華鏡倶楽部等、多くの方々のご出席のもと、オープニングセレモニーを行いました。



ミュージアムは、国内外の万華鏡約50点を常時展示する展示場の他、カフェ形式のリラゼーションスペース、作品発表の場となるギャラリーを配置。市民の方々はもとより、京都を訪れる方々が心安らげる空間になっています。

このミュージアムは、多数のボランティアの方々に協力いただき、財団法人京都市生涯学習振興財団が運営します。

[開館時間] 11:00～17:00

毎週金・土・日曜日（祝日・年末年始は休館）



[入館料] 100円（乳幼児と京都市内の小・中学生は無料）

[ギャラリー使用料]

1日 5,000円

ご意見・お問合せ = 京都万華鏡ミュージアム
姉小路館（254-7902）